環境マネジメントレポート

あなぶきエンタープライズ　公民連携（PPP）事業部
活動期間　2021年４月～2022年３月

環境経営方針

穴吹エンタープライズ株式会社は、地域社会に生かされ生きる企業を目指し、全ての事業活動において環境負荷の削減に努め、持続可能な低炭素社会及び循環型社会の実現に向けて、社会的責任を果たします。

１．お客様に満足していただける、安全で快適な環境を提供します。

お客様にご利用いただく施設環境の向上に努め、環境負荷に配慮した商品とサービスの提供を推進します。

２．廃棄物の適正処理と削減に取組みます。

（１） ３Rを推進し、廃棄物の削減を目指します。

※３R（Reduce:発生抑制　Reuse:再使用　Recycle:再資源化）

（２）食品リサイクル率の向上・生ごみ廃棄物の発生抑制を推進します。

３．SDGｓの理念を尊重し事業活動と社会貢献活動を通じて、その目標達成に貢献します。

４．法令を遵守します。

環境に関する法規制等を遵守し、環境保全に努めます。

５．啓発活動の推進

全スタッフへ環境に関しての教育を行い、社会の環境意識の向上を図ります。

ISO14001　適用範囲

１．適用範囲（事業所名）

穴吹エンタープライズ株式会社　公民連携（PPP）事業部

２．所在地

香川県高松市福田町11番地１

３．適用範囲で行われる事業

指定管理者事業

４．業務内容

指定管理者制度に基づき、地方自治体より委託された公共施設の管理運営を行う

５．適用範囲（2022年３月現在）

サンメッセ香川、香川県県民ホール、香川県総合運動公園、
三豊市文化会館マリンウェーブ、観音寺市民会館
美馬市地域交流センターミライズ、三豊市粟島海洋記念公園（ル・ポール粟島）
穴吹学園ホール、香川県営住宅管理センター、高松市仏生山交流センター

ISO14001　実施体制　(2022年３月現在)

各施設
環境活動報告

１）サンメッセ香川　開業：1994年（2005年４月から指定管理者として運営）

■施設紹介

香川インテリジェントパーク内にある、県内最大の総合コンベンション施設です。

大小２つの展示場と、様々な会議室をご用意しております。

大規模なイベント、見本市、展示会から小人数の会議・勉強会まで幅広くご利用頂いております。

■所在地

香川県高松市林町2217-1

■施設規模

敷地面積：37.426㎡

①今年度の実績評価

省エネルギー化推進によるCO2削減

環境目標項目	単位	実績値評価			
		①目標値	②実績値	③評価（②－①）	
省エネルギー化推進による二酸化炭素排出量削減	kg-CO_2	223,516	221,361	○	−2,155

2021年度の二酸化炭素排出量及び電気使用量の削減目標を達成することができた。

【実績値評価　要因】
・大展示場・小展示場・大会議室の照明をＬＥＤへ改修。また、冷温水発生機も更新したことにより、消費電力量の削減。

省エネルギー化推進によるCO2削減　活動について

・健康経営と連携し、「階段で２UP！３DOWN！」運動を呼びかけて階段利用を促進。
・「かがわ省エネ節電所　夏・冬の登録」に参加し、照明の節電を強化。
・「ノーマイカーデー」や「自転車通勤」の呼びかけを実施し、賛同者が徐々に増加。

１）サンメッセ香川　開業：1994年（2005年４月から指定管理者として運営）

②環境低減への取組

環境活動実績及びその評価

■エコキャップ回収の結果
　57,577個を回収し、CO2を421.8kg削減
※前年度比・・・回収：-10,557個、
　　ＣＯ２削減：-78.2ｋｇ
■アーキペラゴ主催「オアシスマップ」に登録。
■「マイボトル・マイカップ・マイ箸」運動の実施。
■100%ペーパーレス会議を継続。
■洗面台の吐水量を適度に調整し節水を継続。

エコキャップ

スタッフ・お客様への啓蒙活動

■スタッフへの啓発活動
・エコライフフェア2021オンラインの紹介。
・瀬戸内海オーシャンズＸ（エックス）キックオフシンポジウムの動画を視聴。
・脱炭素社会に向けて「ゼロカーボンアクション３０」を勉強。
・COP26で話し合われた概要を説明。
・環境省 地域循環共生圏（ローカルSDGsの創造）の動画を視聴し、従来の環境保護活動との違いや、SDGsと事業経営の結びつきを勉強。

■お客様への啓発活動
・令和３年度瀬戸内海環境保全推進ポスターを掲出。
・エコキャップ回収の呼びかけを実施。
・「クールビズ・ウォームビズ」の呼びかけを実施。

ゼロカーボンアクション３０

食のサステナビリティ

１）サンメッセ香川

開業：1994年（2005年４月から指定管理者として運営）

③SDGsの取組

〇取組目標
①「わたしのSDGs」の活動を推進。

SDG s 具体的な取組み結果

①個人が「17のゴール」から、好きな目標を設定して具体的に取組み、今年度の目標数を課員で確認し合い、さらに年度末には自己採点をして全員で振り返りをした。
3月16日、自己採点で10点満点中8点以上つけた項目に関して、どのような活動をしたのかを発表し全員で共有した。

私のSDGs

１）サンメッセ香川

開業：1994年（2005年４月から指定管理者として運営）

③SDGsの取組

〇取組目標

①地域の清掃活動に参加する。

②ごみ拾いSNS「ピリカ」への個人参加及び賛同者５名とする。

SDG s 具体的な取組み結果

①2021年10月18日「第8回県内一斉海ごみクリーン作戦『さぬ☆キラ』」と「第14回高松クリーンデー“たかまつきれいでー”」の合同イベントに参加。

県内一斉海ごみクリーン作戦「さぬ☆キラ」

②6名が個人でアプリをダウンロードして、ゴミ拾いを実施。５名が「わたしのSDGs」今年度目標に設定した。

アプリ　SNS「ピリカ」

１）サンメッセ香川　開業：1994年（2005年４月から指定管理者として運営）

④次年度の取組目標

次年度の取組について

■定量的な取組

①電気使用量の削減　（Co2削減）

■定性的な取組（SDGｓ目標）

⑰「パートナーシップで目標を達成しよう」

（海ゴミならば、⑭「海の豊かさを守ろう」も該当）

→社外の環境活動への参加

⑪「住み続けられるまちづくりを」

→ごみ拾いSNS「ピリカ」会員登録及び1回以上の参加

④「質の高い教育をみんなに」

→「わたしのSDGs」の活動を推進

→2030アジェンダに向けてスタッフ啓発の推進

２）香川県県民ホール

開業：1988年（2006年４月から指定管理者として運営）

■施設紹介

香川県県民ホールは、大ホール2001席、小ホール807席を中心とした香川県最大級の本格的な芸術文化ホールです。

国内外の優れた舞台芸術の公演をはじめ、県民の創作活動の発表、練習や全国規模の学会・大会、各種会議等に幅広く利用されています。

■所在地

香川県高松市玉藻町９番10号

■施設規模

敷地面積：11,240㎡

①今年度の実績評価

省エネルギー化推進によるCO2削減

環境目標項目	単位	実績値評価			
		①目標値	②実績値	③評価（②－①）	
省エネルギー化推進による二酸化炭素排出量削減	kg-CO_2	722,758	1,277,164	×	554,406

【実績値評価　要因】
・コロナ禍の影響により利用人数減少、一人当たりのCO2排出量が増加。
・会議室やレストランなど換気に伴う電気使用量の増加。

省エネルギー化推進によるCO2削減　活動について

・施設の利用終了後には速やかに点検に行き、照明および空調の電源をすぐに切り節電。
・その日の天候・気温などに応じて不要な照明・空調を省き、節電の実施。
・スタッフが日々館内巡回をし、トイレの蛇口の締め忘れや不要部分の空調の電源をチェック。
・事務所内にて毎年ウォームビズ、クールビズを実施。
・蓄熱システムの設備を修繕し、夜間電力を積極的に活用。

２）香川県県民ホール　開業：1988年（2006年４月から指定管理者として運営）

②環境低減への取組

環境活動実績及びその評価

■スタッフ全員参加の環境についてのミーティングを実践。

■SDGｓの目標や、海に関する質問・海洋問題などをゲーム感覚で学ぶためにカルタやすごろくを活用。

■マイバック・マイボトルの持参促進活動を実施。

マイバッグ・マイボトル持参

スタッフ・お客様への啓蒙活動

■スタッフへの啓発活動

・毎月、休館日に行っている全体ミーティングで環境チームがテーマを決めて全員に発表し、環境問題やSDGｓに関する知識向上。
・自家用車で通勤しているスタッフがいるため、毎月５日をＮｏマイカーＤａｙとし、公共交通機関の利用を呼び掛け。
・事務所の各所にエコの注意喚起ポスターを掲示。

■お客様への啓発活動

・施設内のトイレに節電・節水・紙の節約を呼びかける掲示。
・ゴミを回収する場合は、ゴミ袋（回収費用込）を購入いただき、分別の徹底を依頼。
・会場利用者との打合せ時に照明・空調・エスカレーターを稼働させる時間を確認し、最低限の稼働とする。

ノーマイカーデー

注意喚起ポスター

２）香川県県民ホール

開業：1988年（2006年４月から指定管理者として運営）

③SDGsの取組

4 質の高い教育をみんなに

14 海の豊かさを守ろう

〇取組目標

①瀬戸内海の島でSDGsを体験する「粟島丸ごとSDGs！」に参加する。

SDG s 具体的な取組み結果

①11月14日（日）「粟島丸ごとSDGs！」イベントにスタッフが参加。
マイクロプラスティックになり海の生き物に影響を及ぼす「カキ養殖用　豆かん」を中心に、海ごみ清掃活動を実施。比較的漁獲量の安定した魚【ブルーシーフード】の「鯛」を使用した鯛かつバーガーで昼食。有害ガスを排出しないグリーンスローモビリティでの島内視察を実施。後日参加したスタッフが、内容をミーティングで共有。

海ごみ清掃

鯛かつバーガー

グリーンスローモビリティでの島内視察

２）香川県県民ホール

開業：1988年（2006年４月から指定管理者として運営）

③SDGsの取組

11 住み続けられるまちづくりを

17 パートナーシップで目標を達成しよう

〇取組目標

①SDGsへの理解を深める「SDGs映画祭」を開催する。

SDG s 具体的な取組み結果

①ノンフィクション作品の映像を通して、様々な「境遇」と「リアル」を知ることでSDGsに向き合える映画祭を開催。
2月11日に、気候変動に揺れる３つの島を見つめたドキュメンタリー作品「ビューティフル　アイランズ」を上映。

SDGs映画祭「ビューティフル　アイランズ」

２）香川県県民ホール

開業：1988年（2006年４月から指定管理者として運営）

④次年度の取組目標

次年度の取組について

■定量的な取組

①電気使用量の削減　（Co2削減）

■定性的な取組（SDG s 目標）

④質の高い教育をみんなに

→自主事業の「SDGs映画祭」のスタッフの鑑賞機会を設ける。

③すべての人に健康と福祉を
⑰パートナーシップで目標を達成しよう

→香川県障がい者文化・芸術支援センター様と協力して、文化芸術活動を実施する。

⑪住み続けられるまちづくりを
⑭海の豊かさを守ろう
⑮陸の豊かさも守ろう
⑰パートナーシップで目標を達成しよう

→ミーティングにて森林保全活動と海洋保全活動の関連性をスタッフに共有する。 月1回の鑑賞清掃活動を実施する。

3）香川県総合運動公園

開業：1982年（2013年４月からいくしまスポーツチャレンジ共同体の代表企業）

■施設紹介

22,000席を誇る香川県最大の県営野球場を中心に、サッカー・ラグビー場、テニス場、相撲場、多目的広場等を備えた総合運動公園です。

ウエディングや犬の運動会、スイーツマラソンなどスポーツ競技以外の取組も実施しています。

■所在地

香川県高松市生島町614

■施設規模

敷地面積：30.9ha

①今年度の実績評価

省エネルギー化推進によるCO2削減

環境目標項目	単位	実績値評価			
		①目標値	②実績値	③評価（②－①）	
省エネルギー化推進による二酸化炭素排出量削減	kg-CO_2	316,050	187406	○	−128,644

【実績値評価　要因】
・2020年度と比較し、利用者が回復してきたことから、一人当たりのCO2排出量は削減。

省エネルギー化推進によるCO2削減　活動について

・緑のカーテンを実施し、電力量削減。
・園内巡回時に軽自動車の使用を控え、自転車での巡回を実施。

■緑のカーテン

３）香川県総合運動公園　開業：1982年（2013年４月からいくしまスポーツチャレンジ共同体の代表企業）

②環境低減への取組

環境活動実績及びその評価

■電気使用料の削減
　2021年度　354,265　1Kｗｈ　　前年比　95.5%
■総排水量の削減
　2021年度　14.522㎥　前年比　114.7%
　→サッカー・ラグビー場のスプリンクラー設備に不具合があり、配管から漏水があった。

■県営及び県営第２サッカー・ラグビー場、園内植栽の散水に中水及び井戸水を使用。園内のトイレに中水を使用するなど、園内で使用する水の有効活用を実施。

井戸水での植栽管理

スタッフ・お客様への啓蒙活動

■スタッフへの啓発活動
・毎月施設協力会者含む月例会議や日々の朝礼等において、施設全体の環境活動に関する意識向上。
・香川県総合運動公園周辺の清掃活動を実施。

■お客様への啓発活動
・クールビズ、ウォームビズを呼び掛け。

香川県総合運動公園周辺清掃活動

３）香川県総合運動公園

開業：1982年（2013年４月からいくしまスポーツチャレンジ共同体の代表企業）

③SDGsの取組

〇取組目標

①廃材･不使用備品を有効活用する。

②園内植栽の樹勢回復処置の実施する。

SDG s 具体的な取組み結果

①園内の植栽維持管理業務で発生した剪定枝、葉をチップ材として利用。廃材を利用してドアストッパーを作成。また、公園内各施設ごとに古紙回収を実施。

②松くい虫による被害防止効果として、黒松に樹幹注入を実施。

剪定枝チップ化

廃材の有効活用

黒松樹幹注入

３）香川県総合運動公園

開業：1982年（2013年４月からいくしまスポーツチャレンジ共同体の代表企業）

③SDGsの取組

〇取組目標

①瀬戸内海海洋清掃に参加し、海洋プラスチックを回収とワークショップに参加する。

②下笠居コミュニティセンターが主催する「クリーン作戦」に参加する。

SDG s 具体的な取組み結果

①11月10日地域の清掃活動に併せて、スタッフ15名で公園周辺の清掃活動を実施。

②4月19日地域の清掃活動に併せて、スタッフ15名で公園周辺の清掃活動を実施。

３）香川県総合運動公園

開業：1982年（2013年４月からいくしまスポーツチャレンジ共同体の代表企業）

④次年度の取組目標

次年度の取組について

■定量的な取組

①電気使用量の削減　（Co2削減）

■定性的な取組（SDG s 目標）

④質の高い教育をみんなに

→園内の樹木をテーマにクイズラリーを実施する。

⑭「海の豊かさを守ろう」

→瀬戸内海海洋清掃に参加し、海洋プラスチックを回収とワークショップに参加する。

⑪住み続けられるまちづくりを

→古紙回収
→園内の植栽維持管理業務で発生した剪定枝、葉などのチップ材を低木・地被類部分に敷く

⑰パートナーシップで目標を達成しよう

→下笠居コミュニティセンターが主催する「クリーン作戦」に参加する。

⑮陸の豊かさも守ろう

→サッカー・ラグビー場の低農薬の維持管理の実施

４）三豊市文化会館マリンウェーブ

開業：1982年（2013年12月からNPO法人三豊市地域文化スポーツクラブの構成企業として参画）

■施設紹介

数々の感動的な公演の舞台となってきた770席のマーガレットホールをはじめ、会議室や調理室など多目的にご利用いただける各種スペースを完備しております。

カルチャー教室なども実施し、幅広い世代に利用される施設です。

■所在地

香川県三豊市詫間町詫間1338-127

■施設規模

敷地面積：10,219．62㎡（駐車場含む）

①今年度の実績評価

省エネルギー化推進によるCO2削減

環境目標項目	単位	実績値評価			
		①目標値	②実績値	③評価（②－①）	
省エネルギー化推進による二酸化炭素排出量削減	kg-CO_2	263,790	154,406	○	-109,384

【実績値評価　要因】
・2020年度と比較し、利用者が回復してきたことから、一人当たりのCO2排出量は削減。

省エネルギー化推進によるCO2削減　活動について

・事務所窓際にゴーヤカーテンを栽培する事でエアコンの設定温度25℃～28℃実施。
・冷暖房稼働時に無駄な窓開放を防ぐため空気清浄機を各部屋に設置。
・冷暖房稼働時に無駄な窓開放を防ぐため二酸化炭素濃度計を各部屋に設置。

４）三豊市文化会館マリンウェーブ

開業：1982年（2013年12月からNPO法人三豊市地域文化スポーツクラブの構成企業として参画）

②環境低減への取組

環境活動実績及びその評価

■エコキャップ回収の継続。
・回収BOXが満タンになれば、詫間支所経由で回収業者へ納入。
■ごみの分別(可燃・不燃・ペットボトル・缶等）。
■ケータリングの買物等、エコバックを使用。
■イベントチラシ等が余った場合、児童クラブにて子どもたちの活動に活用。

エコキャップ回収

スタッフ・お客様への啓蒙活動

■スタッフへの啓発活動
・空調のこまめなチェックを呼びかけ。
・エコ通勤について事務所内に掲示。
・ミーティング後の清掃を呼びかけ、適時実施。
・まちづくり推進隊詫間さんの行事で、海ごみ清掃や里山歩きなどに同行しゴミ清掃を実施。

■お客様への啓発活動
・各部屋に節電を呼びかける表示。
・窓開放・空気清浄機等、換気を効果的に呼びかけ。
・必要のない空調使用の抑制を啓発。

４）三豊市文化会館マリンウェーブ

開業：1982年（2013年12月からNPO法人三豊市地域文化スポーツクラブの構成企業として参画）

③SDGsの取組

〇取組目標

①館外の清掃を、課員で取り組む。

②ペットボトルのリサイクルとエコキャップ運動に取組む。

SDG s 具体的な取組み結果

①ミーティング後のタイミングで、３か月に１度課員全員で施設周辺の清掃を実施。

清掃活動

②館内自販機設置コーナーに、エコキャップ回収ボックスを設置し、回収に努めて、回収BOXが満タンになれば、詫間支所経由で回収業者へ納入。

エコキャップ回収ボックス

４）三豊市文化会館マリンウェーブ

開業：1982年（2013年12月からNPO法人三豊市地域文化スポーツクラブの構成企業として参画）

③SDGsの取組

〇取組目標

①まちづくり推進隊と一緒にゴミ拾い及び環境パトロールを実施する。

SDG s 具体的な取組み結果

①7月13日の志々島ウォーキングでは、ナイロンのゴミや海に浮かぶペットボトル数個を回収。
10月12日仁老浜海岸清掃では、マイクロプラスチックやテトラポットの間にはペットボトルなどの回収作業を実施。

仁老浜海岸清掃

志々島ウオーキング

4）三豊市文化会館マリンウェーブ

開業：1982年（2013年12月からNPO法人三豊市地域文化スポーツクラブの構成企業として参画）

④次年度の取組目標

次年度の取組について

■定量的な取組

①電気使用量の削減　（Co2削減）
②エコキャップ回収活動

■定性的な取組（SDGｓ目標）

④質の高い教育をみんなに
⑭海の豊かさを守ろう

→「かがわ里海大学」などの講座に積極的に参加する。
→メディアやSNSを活用し情報収集を行いスタッフ間で共有し見識を深める。

⑪住み続けられるまちづくりを
⑰パートナーシップで目標を達成しよう
⑮陸の豊かさも守ろう

→電気使用量削減を目標に、クールビズ／ウオームビズ実施。
→まちづくり推進隊詫間と同行し、ゴミ拾いなどのパトロールなど共同で行う。

5）観音寺市民会館

開業：1982年（2017年４月からあなぶき･四国舞台グループの代表企業）

■施設紹介

音を観るまち“文化芸術クリエーションホールをめざして”を基本理念に生まれ変わりました。

西讃地区最大の収容人員1,200席を誇る大ホールを中心に音楽に適した334席の小ホール、展示会など様々に利用できる多目的ホール等を完備しております。

■所在地

香川県観音寺市観音寺町甲1186番地２

■施設規模

敷地面積：19,369.33㎡（公共駐車場、計画前面道路除）

①今年度の実績評価

省エネルギー化推進によるCO2削減

環境目標項目	単位	実績値評価			
		①目標値	②実績値	③評価（②－①）	
省エネルギー化推進による二酸化炭素排出量削減	kg-CO_2	252,048	237,894	○	−14,154

【実績値評価　要因】
・課員の省エネ意識の向上及び、11月に利用者数増加に伴い効率的な水光熱利用ができたため目標達成。

省エネルギー化推進によるCO2削減　活動について

・CO2の見える化」として二酸化炭素濃度計を各会議室に設置。
空調も同様に、利用時以外は、換気などの必要空調を除きスイッチOFFを徹底。また、デマンド管理にて監視体制を実施。
・裏紙の再利用（裏紙をメモ用紙として利用）。

二酸化炭素濃度計

5）観音寺市民会館

開業：1982年（2017年４月からあなぶき･四国舞台グループの代表企業）

②環境低減への取組

環境活動実績及びその評価

■2021年度の施設全体の稼働率は20%、対前年比6%上昇。コロナの影響があるなか、前年と比べホール稼働率8.7%、会議室稼働率4.6%上昇。その中、CO2排出量と電気使用量削減目標をともに達成。
11月の利用者数増加に伴い、効率的な水光熱利用ができた。

・ガス使用量：前年比1.8%　減

■敷地内、芝生や雑草管理を年に２～３回実施。
美化、害虫の駆除、ゴミのポイ捨て防止に努めている
■レンタサイクルの推奨

スタッフ･お客様への啓蒙活動

■スタッフへの啓発活動
・施設利用後事務所にて各施設利用がない箇所で電気消灯チェック。
・全体の電気使用料はデマンド抑制。昨年の最大値を基準に設定。
・館内ミーティングにて課員の意識向上のためSDGｓや省エネなどの勉強会を実施。
・エコ通勤への呼びかけ。

■お客様への啓発活動
・クルービズ、ウォームビズポスター掲示案内

５）観音寺市民会館

開業：1982年（2017年４月からあなぶき･四国舞台グループの代表企業）

③SDGsの取組

〇取組目標
①SDGsへ理解を深め、実践するための勉強会を開催する。

SDG s 具体的な取組み結果

①毎月１回スタッフミーティングの際に、環境保全に関する勉強会やクイズ等を実施。
得られた知識を取り入れた体験などを発表し、共有。

チャレンジ！地球温暖化クイズ

1 2020年の世界の平均気温（陸上のみ：陸域における地表付近の気温のみ）の基準値（1981～2010年の30年平均値）からの変化量として適切なものはどれでしょうか。

① 約3℃上昇した
② 約0.85℃上昇した
③ 約2℃低下した

2 IPCCの第5次評価報告書（AR5）で示された「気候変動の観測された影響」に関する説明として、適切なものはどれでしょうか。

① 影響は観測されていない
② 様々な影響が、一部の地域のみで観測されている
③ 様々な影響が、世界中で観測されている

3 地球温暖化に伴う高温により、水稲（イネ）には様々な影響があらわれています。「気候変動の影響への適応計画」において示された、水稲に関する影響として、適切なものはどれでしょうか。

① 白未熟粒の発生などによる品質の低下
② 品質向上による一等米比率の増加
③ 甘みが増す

5 地球温暖化との関連で考えられる猛暑日の増加に関する影響として、適切なものはどれでしょうか。

① 熱中症搬送者数の増加が全国で報告されている
② 熱中症搬送者数の減少が全国で報告されている
③ 一切影響はない

6 多くの地域で永久凍土の温度上昇が観測されています。温度上昇に伴う永久凍土の融解により大気中に放出される温室効果ガスは気候変動を加速させています。CO2以外の温室効果ガスはどれでしょうか。

① アンモニア
② メタン
③ 酸素

7 IPCC（気候変動に関する政府間パネル）の第5次評価報告書（AR5）において、「20世紀半ば以降に観測された気候変動の主な要因である可能性が『極めて高い』」とされているものはどれでしょうか。

① 人間活動の影響
② 自然起源の要因
③ 要因は不明である

地球温暖化クイズ

５）観音寺市民会館

開業：1982年（2017年４月からあなぶき･四国舞台グループの代表企業）

③SDGsの取組

〇取組目標
①関係団体と協力した地域の清掃活動に参加する。

SDG s 具体的な取組み結果

①7月6日に琴弾公園の清掃活動に参加。
11月1日に香川県主催「第8回県内一斉海ごみクリーン作戦　さぬ☆キラ」清掃活動に参加。
梅沢富美男劇団公演のポスター掲示等お礼、回収を含めて商店街清掃を実施。

琴弾公園清掃

県内一斉海ごみクリーン作戦　さぬ☆キラ

商店街清掃

５）観音寺市民会館

開業：1982年（2017年４月からあなぶき･四国舞台グループの代表企業）

④次年度の取組目標

次年度の取組について

■定量的な取組

①電気使用量の削減　（Co2削減）

■定性的な取組（SDGｓ目標）

④「質の高い教育をみんなに」

→東京演劇集団「風」が企画するバリアフリー演劇の実施。

⑪住み続けられるまちづくりを
⑰パートナーシップで目標を達成しよう

→観音寺商店街連合会･観音寺市地域おこし協力隊員と連携し、観音寺市及び観音寺市民会館の賑わいづくりに貢献する。

⑮陸の豊かさも守ろう

→観音寺市民会館クリーン隊2022を発足。今年は清掃範囲を会館周辺とし、月に１回清掃活動を行い、地域住民との交流を行う。

6）美馬市地域交流センター　ミライズ

開業：2018年（2018年４月からあなぶき･TRCグループの代表企業）

■施設紹介

吹き抜け空間を活用した501席のホールや市立図書館、小規模保育所や市民サービスセンターなどを併設しております。

人が集い交流する拠点としての複合施設です。

■所在地

徳島県美馬市脇町大字猪尻字西分116-1

■施設規模

延べ床面積：23,256㎡（駐車場含む）

①今年度の実績評価

省エネルギー化推進によるCO2削減

環境目標項目	単位	実績値評価			
		①目標値	②実績値	③評価（②－①）	
省エネルギー化推進による二酸化炭素排出量削減	kg-CO_2/人	-	-	-	-

※電気使用量は美馬市管轄のため、CO2排出量のデータは無し

省エネルギー化推進によるCO2削減　活動について

・エアコンの温度を可能な限り適正温度に設定を推奨。
・倉庫や給湯室等、使用頻度が少ない箇所の電気は使用時以外消灯し、省電力を実施。
・自宅から職場が近い職員は、エコ通勤を定期的に行い、CO2の削減を実施。
・オデオン座にて、見学者や利用者がいないときは最低限の電気利用で節電を実施。

６）美馬市地域交流センター　ミライズ

開業：2018年（2018年４月からあなぶき･TRCグループの代表企業）

②環境低減への取組

環境活動実績及びその評価

■個人の環境活動を実施→生ごみや衣類の再利用。

■事務所から排出される、ペットボトル・缶・ビンのゴミを、課員が交代で持ち帰り、リサイクル施設や専用の回収業者に持参。

生ごみの腐葉土化

ペットボトル、食品トレーの回収

スタッフ･お客様への啓蒙活動

■スタッフへの啓発活動

・通勤距離が短い課員には、エコ通勤を呼びかけ、実施。
・各家庭での環境活動（服の再利用・生ごみの腐葉土化等）の取りまとめと共有。
・買い物時のエコバッグ利用。
・緑のカーテンを実施。

■お客様への啓発活動

・敷地内で回収した落葉再利用を推奨。
・エコバック利用の推奨。
・クールビズ・ウォームビズの呼びかけ。
・エアコンの温度設定の管理。

緑のカーテン設置・落葉再利用

6）美馬市地域交流センター　ミライズ

開業：2018年（2018年４月からあなぶき･TRCグループの代表企業）

③SDGsの取組

4 質の高い教育をみんなに

17 パートナーシップで目標を達成しよう

〇取組目標

① SDGsへの理解を深める「SDGs映画祭」を開催する。

SDG s 具体的な取組み結果

①『オデオンシネマ de SDGs』と題し、ノンフィクション作品の映像を通して、様々な「境遇」と「リアル」を知ることでSDGsに向き合える映画祭を開催。地域住民への啓発の機会とした。
3月16日にはフードロスをテーマとした「0円キッチン」を上映。

６）美馬市地域交流センター　ミライズ

開業：2018年（2018年４月からあなぶき･TRCグループの代表企業）

③SDGsの取組

〇取組目標
①地域の清掃活動に参加する。

SDG s 具体的な取組み結果

①5月14日つるぎ山周辺の清掃に参加。　10月には、美馬市の河川敷の清掃に参加。

河川清掃活動

つるぎ山清掃

６）美馬市地域交流センター　ミライズ

開業：2018年（2018年４月からあなぶき･TRCグループの代表企業）

④次年度の取組目標

次年度の取組について

■定量的な取組（Co2削減）

①ノーマイカーデー　２回／月

■定性的な取組（SDGｓ目標）

④質の高い教育をみんなに

→スタッフ個人個人で環境活動に取り組み、それを共有・啓発する。

⑭海の豊かさを守ろう

→海ゴミ研修などに参加する。

⑪住み続けられるまちづくりを

→地域の清掃活動に参加する･施設内にあるプランターに、新たに植樹を行う。

⑰パートナーシップで目標を達成しよう

⑮陸の豊かさを守ろう

→つるぎ山ローカルガイド主催のつるぎ山周辺の清掃に参加。ミライズの前にある河川敷の清掃活動を定期的に行う。

7）三豊市海洋記念公園(ル・ポール粟島)

■施設紹介

ル・ポール粟島、キャビン、粟島少年自然の家、浮桟橋から構成されます。

その中でもル・ポール粟島は、宿泊施設やレストラン、宴会場などが集合する粟島のレジャー拠点になります。

■所在地

香川県三豊市詫間町粟島1418-2

■施設規模

延べ床面積：1471.24㎡

①今年度の実績評価

省エネルギー化推進によるCO2削減

環境目標項目	単位	実績値評価			
		①目標値	②実績値	③評価（②－①）	
省エネルギー化推進による二酸化炭素排出量削減	kg-CO_2/人	34,496	43,813	×	9,317

【実績値評価　要因】
・コロナ禍の影響が残り、利用人数減少により、一人当たりのCO2排出量が増加

省エネルギー化推進によるCO2削減　活動について

・ロビー内の冷房・暖房はレストラン営業開始の30分前から使用し、無駄な空調エネルギー削減。
・レンタカー事業としてグリーンスローモビリティを活用し、有害ガスの排出を抑える。

７）三豊市海洋記念公園(ル･ポール粟島)

②環境低減への取組

環境活動実績及びその評価

■エコキャップ回収を実施。

■トイレの照明を感知式に切り替え。未使用の際には照明がオフとなり、電気使用量を削減。

トイレの感知式照明

スタッフ･お客様への啓蒙活動

■スタッフへの啓発活動

・クールビズ・ウォームビズの推奨。
・会議の際にSDGｓの勉強会を月１回実施。
・かがわ里海大学のオンライン研修に参加。

■お客様への啓発活動

・「節電アクション」の呼び掛けを実施。
・必要のない空調しようの抑制を啓発。

７）三豊市海洋記念公園(ル･ポール粟島)

③SDGsの取組

4 質の高い教育をみんなに

14 海の豊かさを守ろう

〇取組目標

①「海ほたる」を通じて海洋環境保全を啓発する。

SDG s 具体的な取組み結果

① 海洋資源の豊かさの指標でもある「海ほたる」を通じて、施設を訪れる観光客に対して環境問題を啓蒙した。
砂地の海底に生息する「海ほたる」の減少を防ぐためには、海ごみ（主にマイクロプラスチック）による汚染を防ぐことが重要であることなどを伝えた。

海ほたる

７）三豊市海洋記念公園(ル･ポール粟島)

③SDGsの取組

〇取組目標

①地元団体･住民と連携して、粟島島内の一斉清掃に参加する。
②清掃活動を通して海洋環境保全に関する社員教育を実施する。

SDG s 具体的な取組み結果

①7月22日島内一斉清掃に参加し、西浜の海ごみ清掃を実施。

②11月14日「粟島まるごとSDG s 」取組みの一環で海岸清掃を実施。
カキ養殖において使われる、通称「豆かん」がマイクロプラスチックとなり海洋環境に影響を及ぼすことを共有した。

７）三豊市海洋記念公園(ル･ポール粟島)

④次年度の取組目標

次年度の取組について

■定量的な取組

①電気使用量の削減　（Co2削減）

■定性的な取組（SDG s 目標）

④質の高い教育をみんなに
⑭海の豊かさを守ろう

→地域の皆様で実施する西浜の清掃活動に参加する。
→実際に海ごみが漂着しやすい粟島での、体験型宿泊プランを小学生の宿泊学習時に清掃活動を通して啓発。

⑰パートナーシップで目標を達成しよう
⑪住み続けられるまちづくりを

→三豊市や関係各所と連携をとり、排ガスを出さないGSMを、島内移動の方法として島民の皆様に更なる定着化を図る。

⑮陸の豊かさも守ろう

→GMSレンタカー、島内来訪者の利用促進を図る。

※GSM　グリーンスローモビリティ

８）穴吹学園ホール

2019年４月から学校法人穴吹学園より運営受託

■施設紹介

学校法人穴吹学園が2021年４月に開学したせとうち観光専門職短期大学校内にある511席の劇場。
本格的な音響、照明設備を備えており、コンサートや発表会、講演会など様々な催しに利用できる施設です。

■所在地

香川県高松市屋島西町2366-1

①今年度の実績評価

省エネルギー化推進によるCO2削減

環境目標項目	単位	実績値評価			
		①目標値	②実績値	③評価（②－①）	
省エネルギー化推進による二酸化炭素排出量削減	kg-CO_2/人	-	-	-	-

※電気使用量は穴吹学園管轄のため、CO2排出量のデータは無し

省エネルギー化推進によるCO2削減　活動について

・ホール利用者の退出後速やかに空調を切るなどを徹底。
・照明のこまめな切り替えを実施。

8）穴吹学園ホール

2019年４月から学校法人穴吹学園より運営受託

②環境低減への取組

環境活動実績及びその評価

■ホール、会議室利用者の退出後など、速やかに消灯や空調を切るなどを徹底し、電気使用量を削減。

■事務用品等を購入の際には、できるだけグリーン購入を心がける。

スタッフ・お客様への啓蒙活動

■スタッフへの啓発活動

・クールビズ・ウォームビズの推奨。
・スタッフ個人個人で環境活動に取組み、それを共有・啓発。
・周辺の清掃活動へ参加。

■お客様への啓発活動

・SDGsフェスを通じて、SDGsに取組む高校生の活動をパネル展示し、来場者に見てもらう。
・SDGsフェスにて「食とSDGs」をテーマにした講演会を開催。

SDGs理解へ
講演や映画上映
高松でフェス

国連が掲げる「持続可能な開発目標（SDGs）」に理解を深めてもらう「SDGsフェスティバル」が15日、高松市屋島西町のせとうち観光専門職短期大穴吹学園ホールで開かれた。

参加者は、講演会やパネル展示などを通じて、フードロスなど身近な食に関する問題について考えた。

海ごみの調査などSDGsに関する活動を行う穴吹エンタープライズ（高松市）が初めて開催。講演会には、農家らに対する経営アドバイスや県産農産物の魅力発信に取り組む「食の劇場」（同）代表の岡本裕介さん（41）が登壇した。

岡本さんは、日本の農業の現状を「価格下落で農家の所得が減り、面積を増やして収入を補おうとすることで品質が落ち、また価格が下がる悪循環に陥っている」と指摘。生産過剰や規格外などで店頭に並べられない農作物を販売するなど自身の取り組みを紹介し、「生産者がどんな状況にあるのか、皆さんに知ってもらいたい」と語った。

捨てられるはずだった食材などを活用して食堂を運営する三本松高など、SDGsに関する取り組みを進めている県内の高校によるパネル展示や映画上映なども行われた。

「生産者がどんな状況にあるのか知ってと語る岡本さん＝高松市屋島西町、穴吹学園ホール

SDGsフェス　新聞掲載

8）穴吹学園ホール

2019年４月から学校法人穴吹学園より運営受託

③SDGsの取組

4 質の高い教育をみんなに

17 パートナーシップで目標を達成しよう

〇取組目標
①穴吹学園と協力し、地域の団体等の発表の機会を提供し賑わいづくりを行う。SDGsについての普及イベントを実施する。

SDG s 具体的な取組み結果

①1月15日に館内で「SDGフェス」を実施。高校生の活動パネル展示（三本松高校、観音寺第一高校、坂出商業高校）、食の講演会、映画上映などSDGsにまつわるイベントを開催し、多くの地域住民が来場した。

８）穴吹学園ホール

2019年４月から学校法人穴吹学園より運営受託

③SDGsの取組

〇取組目標

①穴吹学園と協力し建物周辺の清掃活動を行う。
②スタッフ個人で環境活動に取組み、それを共有・啓発する。

SDG s 具体的な取組み結果

①10月26日にホール西側歩道の清掃を実施。
12月26日に穴吹学園と共同でバス停周辺の草刈り、清掃を行った。

②11/16香川県環境森林部の海ごみクイズキャンペーンに参加。

８）穴吹学園ホール

2019年４月から学校法人穴吹学園より運営受託

④次年度の取組目標

次年度の取組について

【事業部としてのSDGｓ取組強化】

④質の高い教育をみんなに
→SDGｓイベント情報・実施サポート。
スタッフ個人個人で環境活動に取り組み、それを共有・啓発。

⑭海の豊かさを守ろう
→里海大学との連携による海洋環境保全活動。

⑪住み続けられるまちづくりを
⑰パートナーシップで目標を達成しよう
→穴吹学園と協力し清掃活動及び植樹活動を実施。
→香川県が主催する県内一斉海ごみクリーン作戦
「さぬキラ」に事業部単位で参加。

９）高松市仏生山交流センター

開業：2022年（2022年3月から指定管理者として運営）

■施設紹介

高松市仏生山地区に位置する「にぎわいの創出やコミュニティの交流促進の拠点」となる施設です。

イベントスペース、会議室、調理室、屋外広場をご用意しております。

新たな交流・賑わいの拠点として、市民のみなさまが自由に利用できる場所です。

■所在地

香川県高松市仏生山町甲218番地1

■施設規模

敷地面積：　3,021,19㎡

①今年度の実績評価

省エネルギー化推進によるCO2削減

環境目標項目	単位	実績値評価			
		①目標値	②実績値	③評価（②－①）	
省エネルギー化推進による二酸化炭素排出量削減	kg-CO_2/人	-	-	-	-

※電気使用量は運営初年度のため、CO2排出量のデータは無し

省エネルギー化推進によるCO2削減　活動について

2022年3月から管理運営開始のため、今年度の実績無し。

９）高松市仏生山交流センター

④次年度の取組目標

次年度の取組について

【事業部としてのSDGｓ取組強化】

④質の高い教育をみんなに
⑪住み続けられるまちづくりを
→スタッフ個人で環境活動に取り組み、それを共有・啓発する。
地域の清掃活動に参加する。
⑭海の豊かさを守ろう
→海ごみ清掃活動に参加する。

⑰パートナーシップで目標を達成しよう
→仏生山地区のコミニティ協議会、仏生山まちプランニングなどの
地域の団体と、イベントを開催し、地域の賑わいづくりに貢献する。

10）香川県営住宅管理センター

2021年4月からあなぶき公営住宅コンソーシアムの構成企業

■施設紹介

県内420棟、6,336戸ある県営住宅で、あなぶき公営住宅コンソーシアムとしてあぶきハウジンググループの管理実績と当社の指定管理者事業のノウハウで運営しています。

■所在地

香川県高松市番町四丁目1番10号 県庁東館7階

①今年度の実績評価

省エネルギー化推進によるCO2削減

環境目標項目	単位	実績値評価			
		①目標値	②実績値	③評価（②－①）	
省エネルギー化推進による二酸化炭素排出量削減	kg-CO_2/人	-	-	-	-

※電気使用量は香川県管轄のため、CO2排出量のデータは無し

省エネルギー化推進によるCO2削減　活動について

香川県庁舎内に事務所があるため、CO2排出削減の活動は無し。
定性的な取組みを2022年度より活動開始予定。

10）香川県営住宅管理センター

④次年度の取組目標

次年度の取組について

【事業部としてのSDGｓ取組強化】

④質の高い教育をみんなに
→かがわ里海大学講座に参加する。
⑭海の豊かさを守ろう
→海ごみ清掃活動に参加する。

⑪住み続けられるまちづくりを
⑰パートナーシップで目標を達成しよう
→地域の清掃活動に参加する。
→県営住宅各自治会と連携し、環境配慮への啓発活動を実施。

11）業務推進室　SDG s の取組

〇取組目標

①SDGs イベント情報、実施サポート。
②里海大学との連携による海洋環境保全活動。
③香川県が主催する県内一斉海ごみクリーン作戦「さぬキラ」に事業部単位で参加する。

SDG s 具体的な取組み結果

①地域や社会の課題解決に関する学びや活動【ESD】を支援・推進する地域ESD活動推進拠点に登録。

②社内イベントとして、瀬戸内海の海ごみをテーマとした「粟島丸ごとSDGs！」を開催。

③県内一斉海ごみクリーン作戦「さぬキラ」に各施設で参加し、広報を実施。

11）業務推進室　SDGｓの取組成果

【全施設対象 「粟島丸ごとSDGs！」受講実施後アンケート】

参加者10名　大変満足‥70%　満足‥30%　　**全員が満足**

・実際砂浜の漂流物からの豆かんや発泡スチロールを回収する中で、様々な種類が流れつき、粟島でのごみの排出方法で間接的な被害が及んでいることを目の当たりにした。
・ごみの適切な処理をする重要性だけでなく、GSMに乗り、島巡りをする中で、島の人の生活や観光資源（環境・風景）等を維持するためにも常日頃からできることを積み重ねる必要があることを再認識させられました。
・ゴミの多さに驚きました。自然を守らなければならないという意識を再確認しました。素晴らしい経験をさせて頂き感謝します。
・実際に海ゴミの種類の多さを体感し他館との交流も深められた。
・豆かんも少ししか見つけられませんでしたが、宝探しのようで楽しかったです。
・家族で参加でき、粟島の自然を通して環境を考える良い機会となりました。

「海ごみ」「フードロス」「CO_2排出削減」について、家族でレジャーに参加する感覚で、楽しみながら学ぶ機会となった。今後もテーマを設定して継続実施。

11）業務推進室

④次年度の取組目標

次年度の取組について

【事業部としてのSDGｓ取組強化】

④質の高い教育をみんなに
→地域ESD活動推進拠点として、三豊市粟島を拠点としたESD活動を実施する。

⑭海の豊かさを守ろう
→里海大学との連携による海洋環境保全活動。

⑪住み続けられるまちづくりを
⑰パートナーシップで目標を達成しよう
→各施設SDGｓ地域貢献サポート。
→香川県が主催する県内一斉海ごみクリーン作戦「さぬキラ」に事業部単位で参加。

12）その他　SDGｓ活動実績 【放課後児童クラブ】

4 質の高い教育をみんなに

11 住み続けられるまちづくりを

三豊市　**子どもたちにフードロスについて学ぶ機会を提供**

放課後児童クラブに通う子どもたちが、近隣スーパーより賞味期限が近い食材を提供いただき、地域の方とともにクッキングに挑戦。フードロスについて考える取組みを実施。

環境マネジメントレポート

あなぶきエンタープライズ　公民連携（PPP）事業部
活動期間　2021年４月～2022年３月